

令和7年度 第1回 小金井市立前原小学校 学校運営協議会 会議録
(コミュニティ・スクール委員会)

日付：令和7年5月16日（金）

時間：10時から11時30分

場所：家庭科室

参加者：梶野さん、森田さん、村澤さん、亀田さん、伊藤さん、野崎さん、安東さん、貞平さん、中西さん
学校：小柳校長、板澤副校長、青木主幹教諭、濱田主任教諭、細川主任教諭
傍聴者：尾美さん

1 校長挨拶

令和7、8年度の新しい2年間の学校運営協議会が始まりました。昨年度に引き続き、委員を引き受けてくださった皆様、ありがとうございます。今年度、学校運営協議会を進めていくにあたり、委員長・副委員長を選出が必要です。今年度も委員長を梶野さん、副委員長を森田さんをお願いしたいと思い推薦しますが、どなたか他に立候補の方はいらっしゃいますか。

◎立候補出ず

いらっしゃらないようなので、推薦したお二人にお任せしようと思います。

承認の拍手をお願いします。

◎拍手

ありがとうございました。

※CS 梶野さん、CS 森田さんが挨拶

2 委員の自己紹介

3 議題

(1) 令和7年度学校経営方針 小柳校長より

今週水曜日指導室訪問があった。指導室長、統括指導主事、指導主事の4名が4時間目、5時間目の授業を参観した。その授業の指導・講評をしていただいた。教員のチームワークの良さを褒めていただいた。今年度も児童の表現力を高めることや対話力を高める指導を行う。

今後も委員の皆様にもお力を借りる場面があると思います。よろしくお願いいたします。

経営方針の冊子を詳しく見ていただけると分かると思う。学校で行おうとしている指導等について数値的なもので表している。児童・保護者・教員アンケート。内容によっては90%以上のものもある。4月2日に教職員に1時間かけて説明したものである。

プレゼンテーション機能を使用してCS委員に説明

5月巻頭言の内容について説明

- ①「まだできない子」「ゆっくりな子」に厳しい叱責をしたり、追い込んだり、罰を与えたりするような強いストレスを与えないこと。できる子とできない子、速い子と遅い子のような認識をもたせることが、集団の中に分断を生むことになります。「そのうちできるようになるから大丈夫だよ」という雰囲気をつくれます。
- ②「みんな仲良く」「全員でそろえる」ことを強調しすぎないこと。集団としての秩序は大切ですが、「みんな違って当たり前」「助け合うことが大切」ということを前提にして繰り返し伝えていくことで、集団の中に互いを尊重する文化をつくれます。
- ③日常的な交流の機会を設けること。いじめは、他者のことをよく知らず、相手を羨ましく思う感情から生まれることがあります。他者理解を深めるためにも、授業をはじめ、多くの場面で対話の時間をつくり、対話のスキルを高めていきます。

重点目標

◎授業力向上（質の高い対話を引き出す授業）

◎特別支援教育力の向上

CS 梶野：説明について意見がありましたら、ご発言をお願いします。

CS 村澤：特別支援教室はどこへ？

校長：旧かなでルームに移動になった。

CS 亀田：算数の取り組みについてはどのような取り組みをしているのか。

校長：後ほど担当から説明がある。

CS 貞平：グラフの見取り方は？

校長：いろいろな見方をするのが大切。※詳しく説明。

CS 森田：学力の向上は児童の意識の向上にも影響があるのでは。

CS 伊藤：自由進度学習について。学習の苦手児童の取りこぼしがあるのではないかと。

校長：自由進度学習は教員のスキルが大いに必要である。本校では、総合的な学習の時間で行う。

経営方針については、承認するということによろしいでしょうか。

◎拍手◎

それでは、承認するということによろしくをお願いします。

(2) 令和7年度学校評価 細川主任教諭、濱田主任教諭

細川：学校評価表の内容について説明

＜研究＞

目指す児童像は変更なし。対話の質について研究をしていく。

令和6年度の校内研究の課題→対話のゴールはどこなのか。

今年度の修正⇒「**学びの深まりを実感できる算数**」

学級の実態にそった指導の改善を行った。

①問の工夫②活発な対話③振り返り活動⇒深い学び

◎問い返しの工夫（1往復半のやり取り）

◎マエハラレスポンスについて⇒中心は共通、周りは各教室で違うものになる

＜生活指導＞

靴のかかとそろえ・・・規律の乱れは足元から 昨年度に引き続き指導を行う。

生命尊重の意識を高める授業に取り組む「命の授業」＝ハートフルウィークの実施

濱田：先程の皆様の会議内容を聞いていて、大変心強いと思った。ありがとうございました。

＜地域連携＞

・地域人材一覧を活用している。←昨年度中に一覧表を作成し、今年も活用する。

・総合的な学習の時間「障害者の方からのお話」

・昨年度の野川のゴミ拾い活動を行った。清掃活動は、きっかけの一部。

・ゴミ拾いをした内容にポスターを作って地域に働きかけたいという児童の気持ちを尊重した。

・市長に手紙を書きたい。校内に広めたい（動画）子供が「こうしたい」という内容について、深めていきたい。

＜特色ある学校づくり＞

・体力向上：委員会の取り組みの紹介

・生命尊重の意識を高める授業に取り組む：100%達成、継続していく

・いじめの等の訴えがあった場合には、児童への聞き取り、3時間以内に管理職に報告することを実施。学年の情報共有を行う。

CS 梶野：説明は終わりました。何かご質問はありますか。

CS 村澤：生命尊重の意識を高める授業が100%達成している。素晴らしいことです。実際、子供がトラブルを起こし先生方に相談したところスピーディーに対応してくださったと保護者が感謝していた。対応がよかったとびっくりしていたと3例ほど聞いている。先生に相談して、解決していくことが安心・安全につながる。経験した人が感謝していた。

CS 安東：提案だが、昔は野川清掃をしていた。土曜日、年1回等、地域を皆できれいにする。小さい頃から経験をするとよいのでは。自然を感じる。タブレットの導入でそういうものがなくなったのか。

CS 森田：コロナ前は、環境政策課がおこなっていた。地域としても心がけていく。

濱田：昨年度も取り組みがあった。学年では周知していた。

CS 森田：現在は参加が少ない。以前は、炊き出しがあった。

CS 野崎：視覚障害者の方との交流があったが、自分もそうである。いろいろな説明ができると思う、機会をとらえて声を掛けてほしい。

CS 森田：盛り上がりすぎたり、うまくいかなかったり等のときはどうするのか授業の進め方の研修はどうしているのか。

濱田：OJTを月1回行っている。規律的なところは、各クラスによるので、学年等での対応をしている。

CS 森田：発言のところでも黙ってしまう子もいると思う。教員の声掛けは？

濱田：話がうまくできない子への対応は、いまま試しながら授業を進めている。主任教諭が中心に取り組みを考えて行く必要がある。検討していく。

CS 梶野：議題についてよろしいでしょうか。

◎なし◎

CS 梶野：議題については、承認します。ありがとうございました。

3 情報交換

CS 伊藤：まなび～

現在までで10回おこなっている。参加名簿者93名。昨年度の3学期以降 異学年交流をしている様子が見られる。兄弟姉妹間のやり取りを見ることができる。

CS 中西：PTA 室をきれいにしたい。

CS 梶野：箱に振り分けて整理するとよい。

CS 野崎：学童の経営が日本保育サービスに変わって、学童での児童の様子について情報が入ってくる。日本保育サービスの対応に不満があると思われる意見を聞くことがある。
指導員⇒ただ立って見ている状態である。

副校長：前回、学童で起きたトラブルについて保護者から担任が相談を受け、対応した件について報告。

CS 森田：毎日の参加児童が200人（登録者・学童含め）1年生20人くらい、昨年度より多い。
高学年の参加も多い。乱暴な言葉、高学年を蹴る児童がいる。スタッフがその児童に繰り返し教え

ている状況。3年生の学童の児童が乱暴である。

活動報告⇒備考欄についての対応を報告すると学校で対応をしてくれている。

児童は安心してスタッフに困り感を伝えてくる。

スタッフさんは、保護者が多い。守秘義務の範囲での情報交換。子供たちの様子を見守っている。

<学童の様子>

学童に通っている児童が自分の困りごとを見守りのスタッフに相談してくる。

トラブルに関しては、情報を市教委の担当者にあげる。

生涯学習課・児童青少年課等の会議、昨年度まで開催されてなかった。

今年度開催する予定である。学校も参加していただけたらと思う。

PTA活動の中で茶話会がなくなっていて、学校の情報を仕入れる状況がない。

兄弟姉妹がいる方は良いが、そうでない方は、見守りに来て情報を仕入れている状況がある。

コロナ禍で保護者同士の交流がなくなったことが原因なのかもしれない。

乳幼児を連れてくる保護者は、交流する時間、タイミングが合わない可能性もある。

CS 中西：みなさんの交流の場がないことについては、相談したい。

CS 安東：以前は、親子レクがあった。

CS 森田：保護者会が保護者同士の交流の場としてあるとよい。

保護者会に参加しても、早く帰る人、校庭に残って話をしている人に分かれる。

CS 安東：社会に溶け込むことが親も子供も難しい。

校長：幼保小連携を行う。連携の場を設けることを計画している。

朝の登校についてくる保護者が多い。お互いに情報交換をするとよい。

CS 村澤：学校の交通安全に参加した。児童が他に興味をしめしたら、先生の話聞かないで興味のある方へ行ってしまう。先生は大変。現在は、おむつが外れるのが3歳くらいようだ。

CS 安東：早く外すのが「虐待」と捉えられることがある。今は、4歳くらいに外れる子もいる。

CS 森田：6月24日ポット苗植えがある。大学生に広めようと思っている。

5 事務連絡

副校長：次回の学校運営協議会は、9月26日です。

6 閉会

CS 梶野：これで令和7年度 第1回学校運営協議会を終わります。

ありがとうございました。